



## 2026年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東  
 コード番号 9979 URL <https://www.daisyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平了壽  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間信護 (TEL) 03-5764-2229  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年8月期第1四半期の連結業績 (2025年9月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年8月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	12,791	1.8	76	△22.9	86	△12.6	41	△68.1

(注) 包括利益 2026年8月期第1四半期 63百万円(△46.9%) 2025年8月期第1四半期 119百万円(49.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年8月期第1四半期	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	1.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
2026年8月期第1四半期	百万円		百万円		%	円 銭
2025年8月期	28,352		11,182		39.4	532.82

(参考) 自己資本 2026年8月期第1四半期 11,181百万円 2025年8月期 11,286百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2026年8月期(予想)		6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年8月期の連結業績予想 (2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,860	2.5	605	0.8	575	△3.2	480	△32.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期 1Q	21,198,962株	2025年8月期	21,198,962株
② 期末自己株式数	2026年8月期 1Q	213,888株	2025年8月期	213,888株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年8月期 1Q	20,985,074株	2025年8月期 1Q	20,985,094株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、現在の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が見られるものの、雇用や所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかに回復しつつあります。一方で、地政学リスクの顕在化や金融資本市場の変動などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、インバウンド消費の拡大等により需要は堅調に推移しているものの、原材料価格や人件費などの運営コストの上昇に加え、物価上昇の継続と実質賃金の伸び悩みによる節約志向の高まりなどにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する」という基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、売上高と営業利益率の向上を目指し、企業価値向上を図るため、主要業態「庄や」のリニューアルや強化業態への業態変更を含む店舗改装の推進、デジタルマーケティングやウェブ予約獲得の拡充による集客力強化、卸売・ロジスティクス事業の外部販売先拡大、不動産事業及びF C・V C事業等の収益確保、D X(デジタル・トランセフオーメーション)取組み推進による生産性向上、労働環境の改善や研修の充実による人材確保・育成などの施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、新規出店を1店舗、店舗改装を6店舗、店舗閉鎖を4店舗(うちV C(ボランタリー・チェーン)への移行を1店舗)で行った結果、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は309店舗(直営229店舗、F C28店舗、V C52店舗)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1.8%増加の12,791百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

飲食事業につきましては、既存店売上高は対前年比増加したものの、直営店舗数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ1.6%減少の5,494百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総合物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ5.1%増加の6,567百万円となりました。

不動産事業につきましては、一部自社不動産物件の売却もあり、売上高は前年同期に比べ1.7%減少の411百万円となりました。

F C・V C事業につきましては、F C店舗減少やV C店舗の営業権利用料更新等により、売上高は前年同期に比べ8.2%減少の215百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ21.3%増加の102百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は76百万円(前年同期比22.9%減少)、経常利益は86百万円(前年同期比12.6%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は41百万円(前年同期比68.1%減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,525百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,369百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は18,388百万円となり、前連結会計年度末に比べ355百万円増加となりました。これは、建物及び構築物(純額)が238百万円、土地が161百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ449百万円減少となりました。これは、買掛金が205百万円、未払法人税等が113百万円、未払消費税等が75百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は7,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ616百万円減少となりました。これは、長期借入金が569百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は11,182百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が126百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の通期連結業績予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました内容に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	5,395	4,026
売掛金及び契約資産	4,132	4,091
商品及び製品	1,026	1,080
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	99	100
未収入金	186	91
その他	660	582
貸倒引当金	△14	△13
流动資産合計	11,486	9,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,782	5,020
機械装置及び運搬具（純額）	512	531
工具、器具及び備品（純額）	287	331
土地	3,738	3,900
リース資産（純額）	134	118
建設仮勘定	9	13
有形固定資産合計	9,465	9,916
無形固定資産		
借地権	1,763	1,763
ソフトウエア	140	135
その他	119	119
無形固定資産合計	2,023	2,018
投資その他の資産		
投資有価証券	1,087	1,133
出資金	1	1
長期貸付金	324	318
差入保証金	2,974	2,971
敷金	1,511	1,407
繰延税金資産	530	504
その他	122	124
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	6,543	6,453
固定資産合計	18,033	18,388
繰延資産		
社債発行費	4	3
繰延資産合計	4	3
資産合計	29,523	28,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	2,506	2,300
短期借入金	2,200	2,200
1年内返済予定の長期借入金	2,283	2,283
1年内償還予定の社債	90	90
リース債務	115	114
未払金	1,823	1,923
未払法人税等	145	32
未払消費税等	386	310
賞与引当金	366	298
株主優待引当金	291	222
店舗閉鎖損失引当金	3	1
資産除去債務	28	28
その他	345	329
<b>流動負債合計</b>	<b>10,584</b>	<b>10,135</b>
<b>固定負債</b>		
社債	135	90
長期借入金	3,902	3,332
リース債務	87	61
退職給付に係る負債	1,550	1,560
役員退職慰労引当金	238	244
受入保証金	869	871
資産除去債務	775	777
繰延税金負債	91	94
その他	1	1
<b>固定負債合計</b>	<b>7,651</b>	<b>7,035</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,236</b>	<b>17,170</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>7,657</b>	<b>7,657</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>3,749</b>	<b>3,623</b>
<b>自己株式</b>	<b>△250</b>	<b>△250</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>11,257</b>	<b>11,130</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>29</b>	<b>50</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>29</b>	<b>50</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,286</b>	<b>11,182</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>29,523</b>	<b>28,352</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)	(単位：百万円)
売上高	12,570	12,791	
売上原価	7,770	8,004	
売上総利益	4,800	4,786	
販売費及び一般管理費	4,701	4,710	
営業利益	99	76	
営業外収益			
受取利息	1	2	
受取配当金	0	2	
貸倒引当金戻入額	0	0	
受取損害賠償金	1	1	
受取保険金	4	18	
投資有価証券売却益	23	14	
為替差益	3	0	
その他	6	10	
営業外収益合計	42	51	
営業外費用			
支払利息	28	27	
貸倒引当金繰入額	0	0	
その他	14	14	
営業外費用合計	43	41	
経常利益	98	86	
特別利益			
固定資産売却益	76	0	
受取補償金	—	83	
特別利益合計	76	83	
特別損失			
固定資産売却損	—	0	
固定資産除却損	36	51	
減損損失	6	23	
店舗関係整理損	1	2	
特別損失合計	45	78	
税金等調整前四半期純利益	129	90	
法人税、住民税及び事業税	25	32	
法人税等調整額	△25	16	
法人税等合計	0	48	
四半期純利益	129	41	
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0	
親会社株主に帰属する四半期純利益	129	41	

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	129	41
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	21
その他の包括利益合計	△10	21
四半期包括利益	119	63
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	62
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	F C・V C 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,584	6,249	—	—	11,833	84	11,918	—	11,918
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	234	234	—	234	—	234
顧客との契約から 生じる収益	5,584	6,249	—	234	12,067	84	12,152	—	12,152
その他の収益(注) 4	—	—	418	—	418	—	418	—	418
外部顧客への売上高	5,584	6,249	418	234	12,486	84	12,570	—	12,570
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	2,010	48	0	2,061	80	2,142	△2,142	—
計	5,585	8,260	467	234	14,547	165	14,713	△2,142	12,570
セグメント利益	147	181	109	93	530	0	531	△432	99

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△432百万円には、セグメント間の取引消去131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△563百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において6百万円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	F C・V C 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,494	6,567	—	—	12,061	102	12,164	—	12,164
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	215	215	—	215	—	215
顧客との契約から 生じる収益	5,494	6,567	—	215	12,276	102	12,379	—	12,379
その他の収益(注) 4	—	—	411	—	411	—	411	—	411
外部顧客への売上高	5,494	6,567	411	215	12,688	102	12,791	—	12,791
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	2,085	46	0	2,133	86	2,220	△2,220	—
計	5,495	8,653	457	215	14,821	189	15,011	△2,220	12,791
セグメント利益	62	231	123	75	492	6	498	△422	76

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△422百万円には、セグメント間の取引消去129百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△551百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」「不動産事業」および「F C・V C事業」セグメントにおいて固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「飲食事業」セグメントで17百万円、「不動産事業」セグメントで0百万円、「F C・V C事業」セグメントにおいて5百万円であります。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	259百万円